

件名：第1回 道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日時：平成28年8月1日（月） 午後7時から午後8時まで

あいさつ：（副町長より）

協議会設立の目的、山陰道整備にあわせて、道の駅「北条公園」を開発することの重要性について説明を行った。

内容：

役員選出は、地域と事業者商工業といった視点から自治会代表者と商工会代表者とする。

- ・ 会 長 副田幸男 氏（田井自治会）
- ・ 副会長 福井利明 氏（北栄町商工会）

資料は添付のとおりです。

「北栄町まちづくりビジョン」「北栄町まち・ひと・しごと総合戦略」「砂丘地基本構想」といった町の上位計画で位置づけられている道の駅の機能を充実し「賑わいづくり」及び「交流の拠点」とした諸整備が必要であることを説明した。

目的を達するために、各関係機関からさまざまな視点での意見を伺い、知恵を出し合いながら充実した道の駅を再整備することを確認した。

まずは、道の駅を整備するにあたり、その基本構想を策定していくこととなりますが、その構想と一緒に考えていき、形にしていくということを共有した。

キーワードとして『女性と子どもの滞在・交流』をあげましたが、委員中に女性と子どもがいないため、身近な女性や子どもたちにも聞きながら、次回開催までに随時意見を伺うこととする。

会の質疑については、以下のとおり。

・委員1

事業規模や工事合計額をいくら見込んでいるのか。

東部の道の駅は3億円とか数字が出ていたが。

⇒基本構想（おおよそのイメージ図・設計図）が固まらないと概算工事額もわからない。

基本構想策定にはおおよそ700～800万円と見込んでいる。

・委員2

山陰道（自専道）が整備されると、その北側に上りの側道、南側に下りの側道ができる予定か。

山陰道の下は高架で駐車場となることか。

⇒委員3 その予定ではあるが、都市計画決定がなされていないため、はっきりとしたことはいえない。

図面にあるのは町として高架をここまであればというもので、その下が駐車場にできればというものである。

・委員 1

高架下の駐車場から側道を横切ると危険性があるのではないか。信号や地下道の建設は考えられないか。

⇒今のところ、都市計画決定がなされていないのでなんとも言えない。計画が決定してから、危険がないようにと検討する。意見として受け止めたい。

・委員 3

説明にもあったとおり、人が滞留しないと経営が成り立たなくなる。

人が呼べる仕組み、例えばグラウンドゴルフができるような広場ができればと思う。

いい道の駅となるように、皆様の協力をお願いします。

# 第1回 道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日 時 平成28年8月1日（月）  
午後7時から  
会 場 北栄町中央公民館  
2階 会議室

- 1 あいさつ
- 2 役員選出
- 3 経過報告
- 4 計画説明
- 5 その他

北栄町役場 産業振興課 農商工推進室  
〒689-2111  
鳥取県東伯郡北栄町土下1-1-2番地  
電 話 (0858) 36-5564  
F A X (0858) 36-4595  
メー ル sangyo@e-hokuei.net

## 役員選出

### (1) 必要な役員

道の駅「北条公園」運営連絡協議会設置要綱（以下、「要綱」という。）第3条及び第4条の規定により、会長及び副会長を委員の互選により定める。

- ・会長1名
- ・副会長1名

### (2) 役員の業務

要綱第4条の規定により

- ・会長は、協議会の代表で会務を総括する。
- ・副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたときは職務を代理する。

「会長」 副田 幸男 氏（田井自治会長）

「副会長」 福井 利明 氏（北栄町商工会長）

## 経過報告

### (1) 経過

#### ●平成27年度

- ・鳥取9号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策）事業  
交差点の立体化による事故対策事業における、湯梨浜及び北栄地区の調査・設計、改良工事が行われた。
- ・8月 道の駅「北条公園」山陰道整備について、倉吉河川国道事務所ヒアリング  
一体化登録事業の流れと今後の作業手順について
- ・11月 鳥取県関係機関との協議  
農地の取り扱いについて（農振法・農地法）
- ・12月 農地転用方向性の確認・・・中部農林局
- ・3月 協議会設立準備会の開催

#### ●平成28年度

- ・4月 協議会設置要綱の制定
- ・5月 委員推薦依頼  
県土整備局意見交換会  
倉吉河川国道事務所との協議  
スケジュールの変更と基本構想の見直しについて確認
- ・6月 委員推薦依頼
- ・7月 委員委嘱  
当該地における環境調査  
現在稼動している事業者には臭いと虫についてアンケート調査を実施

## (2) 道の駅「北条公園」運営連絡協議会の必要性

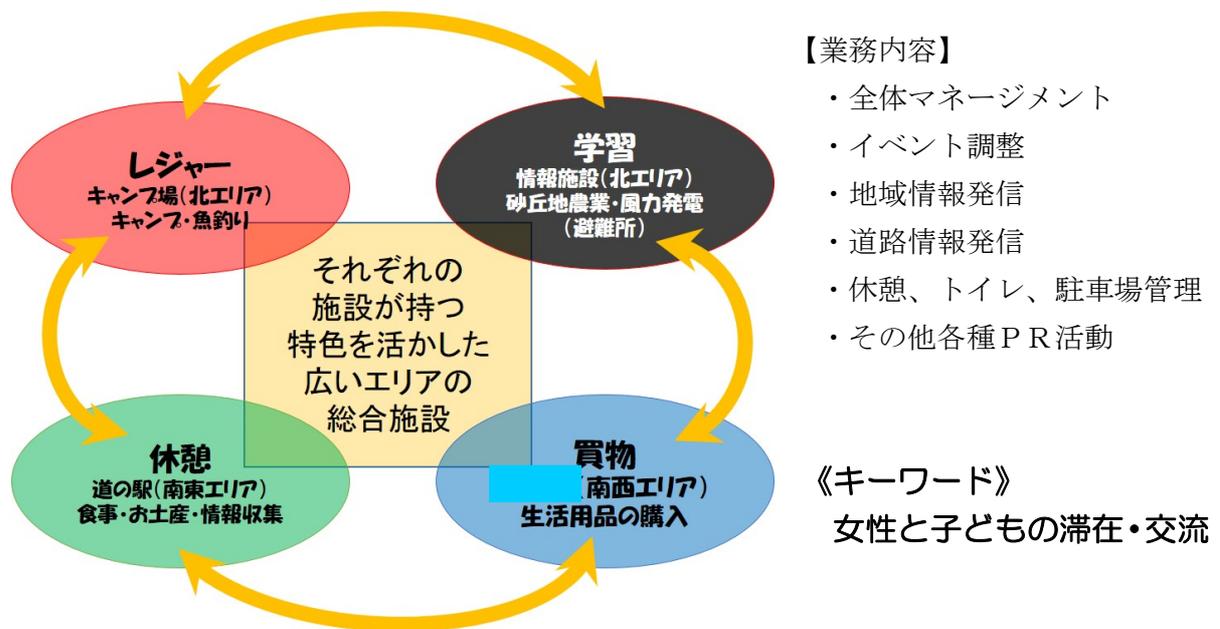
山陰道整備に向けて、課題を抽出した。

- ① 国道9号が自動車専用道路として整備されることにより、313号との結節点が単なる通過点となってしまふ恐れがある。
- ② 国道9号の南北に位置している道の駅「北条公園」が分断され、道の駅としての機能を失う恐れがある。

北栄町の過疎化を防ぐため、幹線道路にある町の出入口に位置する、道の駅「北条公園」を充実し、交流の拠点として機能するための整備が必要。

【交流拠点の整備】【情報施設の充実】【特産農産品の高付加価値化】を図り、《立ち寄る場所から滞在できる場所》を目指す。

実現化し、将来に渡り運営していくために、『運営連絡協議会』を設立する。



## 4 計画説明（方針案）

### (1) 町の基本計画・・・上位計画における位置付け

#### ①北栄町まちづくりビジョン

町の総合計画であり、平成27年9月に改定された。

- ・道の駅「北条公園」は観光レクリエーション拠点として位置付け。
- ・砂丘地は町の重要な資源であり、自然環境の保全と砂丘地農業の推進、魅力ある景観の形成を検討予定。
- ・国道9号、313号結節点周辺を「広域交流拠点」として位置付け、企業や商業施設の誘致による産業拠点化を掲げている。

## ②「北栄町まち・ひと・しごと総合戦略」

地方創生の観点から、平成27年8月に制定した総合戦略で、7つの基本目標を設定している。

- ・砂丘地農業等のブランド化による農業の一大産業化。
- ・観光の振興と町への愛着と誇りを持つ人材育成。
- ・環境に優しいまちづくり。

## ③砂丘地基本構想

平成18年3月に策定された。

砂丘地振興を考えるうえで農業振興が重要な課題であり、経営規模の拡大や施設整備、次世代育成支援といった取組みが必要。

農業施策外では、地域活性化を目的とし、「観光」「健康」「環境」のキーワードをふまえた「交流」拠点施設として、道の駅「北条公園」のリニューアル構想が位置づけられている。

## (2) 現状

### 【北側の施設】・・・A工区

- ・オートキャンプ場（管理棟）
- ・ジェラートGAGA
- ・北条製麺所（うどん）
- ・母大笑（焼肉）
- ・一菜ふく福（直売所）
- ・トイレ
- ・駐車場

### 【南側の施設】・・・B工区

- ・ねばりっ娘（食事）
- ・北条産直市場（直売所）
- ・希望の館（屋内運動施設）
- ・フルーツドーム（果樹観光モデル園）
- ・農業試験場（ブドウ試験栽培）
- ・トイレ
- ・駐車場

人が来て交流する拠点を  
目指した  
魅力ある施設となるように  
リニューアルをする

## (3) 再整備計画案

- ・別紙1 「まちづくりビジョン」「ひと・まち・しごと創生総合戦略」「砂丘地基本構想」に基づいた施設内容
- ・別紙2 地籍図

#### (4) スケジュール

##### 【国土交通省】

###### ①湯梨浜・北栄地区事故対策事業

平成 28 年 7 月 国坂地区において国交省工事及び北栄町公共保証工事に着手予定

###### ②山陰道整備

平成 28 年度中 土地計画決定（図面化）と住民説明会を予定

##### 【北栄町】

###### ①一体化登録

平成 28 年 8 月～ 基本構想の策定（協議会）

平成 29 年 1 月～ 登録変更手続き

###### ②道の駅再整備

平成 28 年度中に基本構想を策定し、できるものから平成 29 年度以降取り組む民間事業者が商業施設建設を最短で平成 32 年度着工を目指している

B工区（道の駅）を整備し、道の駅機能を移転する

↓

A工区（商業ゾーン）現存施設を解体し、商業スペースを整備する。

↓

C工区（オートキャンプ場ほか北側施設）

※経費については、国県補助を活用する。

## 5 その他



商業施設建設計画地

北条オートキャンプ場

道の駅の機能維持

畑総 (H29.4.1期限)

鳥取県所有地

北条オート  
キャンプ場

C工区

キャンプサイト  
バンガロー  
テントスペース

飲食店

管理棟

キャンピングカー  
サイト

町情報施設  
見学施設  
トイレ

ふれあい広場

土地拡大して芝生  
と遊具を整備した  
公園設置

駐車場利用

道の駅としての  
機能維持

飲食・直売

ガソリン  
スタンド

大型車

商業施設建設  
計画地

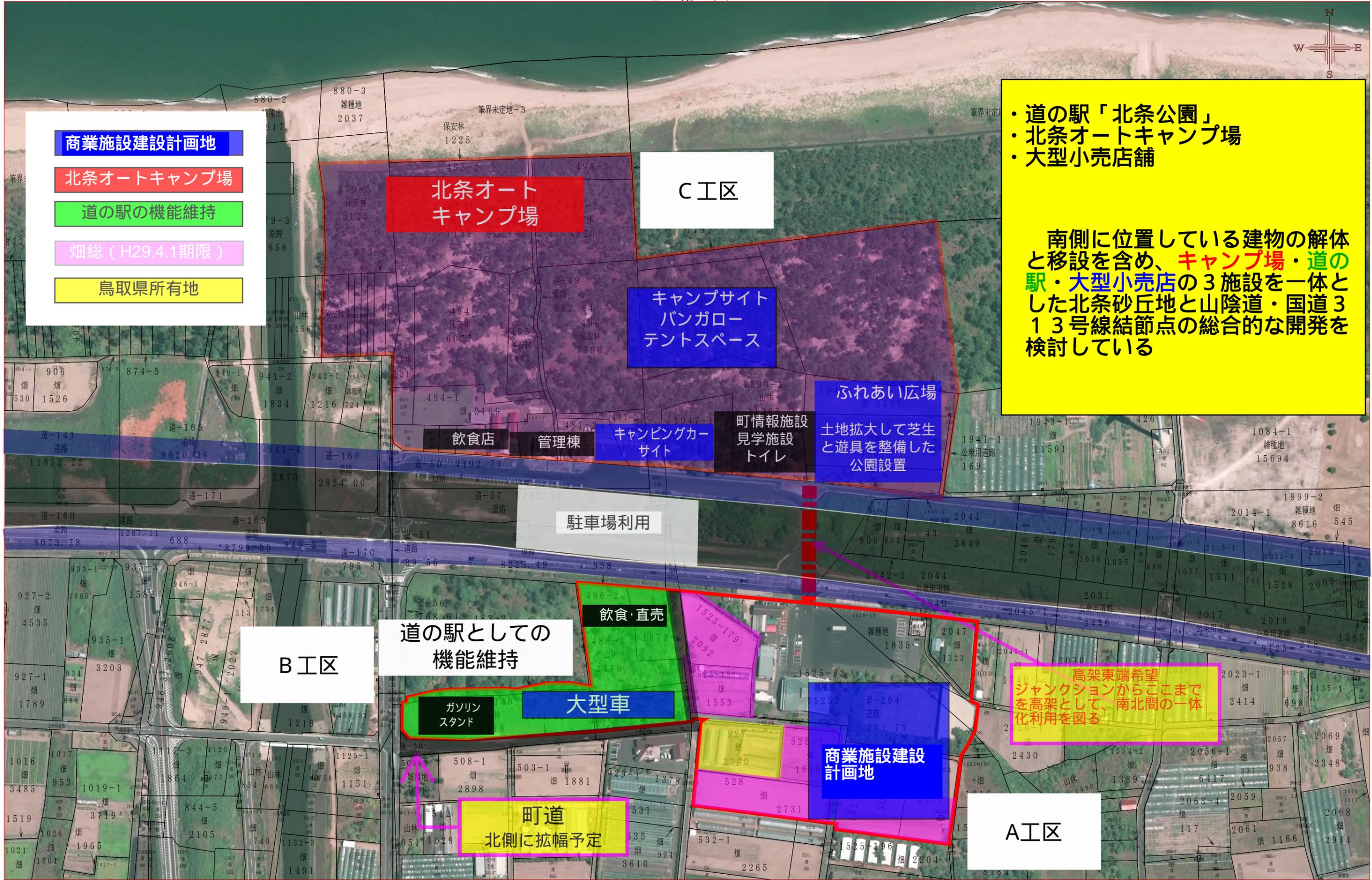
町道  
北側に拡幅予定

高架東端希望  
ジャンクションからここまで  
を高架として、南北間の一体  
化利用を図る

A工区

道の駅「北条公園」  
北条オートキャンプ場  
大型小売店舗

南側に位置している建物の解体  
と移設を含め、**キャンプ場・道の  
駅・大型小売店**の3施設を一体と  
した北条砂丘地と山陰道・国道3  
13号線結節点の総合的な開発を  
検討している



## 「まちづくりビジョン」「ひと・まち・しごと創生総合戦略」「砂丘地基本構想」に基づいた施設内容

番号	施設名	内 容	計画・構想	管理運営体制	
				現行	将来像
①	飲食店	現在はうどん・焼肉・ジェラートを販売しており、今後も同位置にて継続予定。		(株) チュウブ 他	
②	管理棟	オートキャンプ場の管理等であり、コミュニティ施設としても機能している。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」	町：指定管理 (株) チュウブ	
③	キャンピングカーサイト	キャンピングカーが滞在できる状況を整備する。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン	町：指定管理 (株) チュウブ	
④	町情報施設・見学施設・トイレ	観光農園の周知をはじめとする砂丘地開拓の情報発信コーナーを設けた風車見学施設を建設する。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 「4 やさしいまちづくり」 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン 5号機風車公園ゾーン	※新設	
⑤	ふれあい広場	子どもの遊具を設置したグラウンドを整備する。	まちづくりビジョン 「やさしいまちづくり」 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン 5号機風車公園ゾーン	※新設	
⑥	キャンプサイト (バンガロー・テントスペース)	現在設置されているバンガローやテントスペースの修繕や再整備を行う。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン	町：指定管理 (株) チュウブ	
⑦	飲食・直売 (お土産・特産品・飲食店・トイレ)	北栄町の特産品や農産物加工品を取り扱う直売所、特産品料理の飲食店、トイレを一体的に整備しコミュニティセンターとして機能させる。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 ひと・まち・しごと創生総合戦略 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン 生産ゾーン	町所有 賃貸 (有) 北条特販	
⑧	ガソリンスタンド	山陰道の鳥取－米子間において、容易に立ち寄れるガソリンスタンドがないため、ほぼ中間地点の道の駅に整備する。	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 ひと・まち・しごと創生総合戦略	※新設	

⑨	大型小売店	商業施設の計画があり、 なると考えている。	大きな集客施設に	まちづくりビジョン 「1 げんきなまちづくり」 ひと・まち・しごと創生総合戦略 砂丘地基本構想 集客拠点ゾーン	※新設	
---	-------	--------------------------	----------	---	-----	--